

支部便り

## 第20回東海支部女性の会「工場見学会」開催報告 Report on the 20th women's meeting "Factory tour" from Tokai branch

大島 智子

Tomoko OHSHIMA

軽金属学会東海支部女性の会では、会員同士の交流や理系女子学生に社会人として働くイメージをもってもらうための講演会、工場見学会、交流会を開催している。今年度は2025年8月26日(火)に交流会、12月4日(木)に工場見学会を開催した。見学会の参加者は会員・非会員あわせて17名、内訳は学生7名、社会人10名、うち男性参加者が10名だった。工場見学のスケジュールは以下の通りである。

- 8:45 名古屋駅集合、出欠確認
- 10:00～11:50 岐阜県産業技術総合センター  
施設紹介、見学
- 12:20～13:10 スモークハウス笑わずで昼食
- 13:30～16:00 鍋屋バイテック会社  
会社紹介、見学
- 16:55 名古屋駅にて解散

岐阜県産業技術総合センターは岐阜県の7主要産業のうち5分野(プラスチック、金属、製紙、繊維、食品)および情報に関する開発や人材育成、企業支援を行っており、各素材の物性計測に必要な計測機器を備え、有償の受託分析や機器使用を行っている。施設の概要説明を受けたのち、施設内を移動しながら金属の分析に使用する機器を中心に説明いただいた。機器類は種類・用途ごとに分けて各部屋に設置されており、ゆとりが感じられた。



図1 参加者の集合写真@岐阜県産業技術総合センター

昼食は燻製料理を得意とするお店で日替わりランチをいただいた。前回の見学会では学生と社会人でテーブルが分かれてしまい顔見知りでの交流となったため、今回は4人掛けテーブルでは学生と社会人が相席になるように、席の割り振りを行った。最初はぎこちない印象だったが、時間経過とともに打ち解けて各テーブルで会話が弾んでいる様子が見受けられた。

鍋屋バイテック会社は1940年に設立、プーリー、カップリングなどの機械要素部品の製造を担う会社で、今回は鋳鉄の鋳造工場を見学した。社長の「自分が宴席に居るときに社員

が働いているのは心苦しい」との考えで社員には定時勤務を推奨しているとのこと。社員の多くは8:00～17:00勤務で残業は1時間程度、休憩時間中はラインを止める一方で機械加工ラインは自動運転で24時間稼働するなど、生産性とワークライフバランスを考慮したメリハリの利いた職場だと感じた。社員教育・モチベーション向上のために会社指定の資格を取得したら毎月の給与に資格手当を退職まで給付する、改善活動に賞金を支給するなど、社員のやる気を引き出す素晴らしい手法を活用していると感じた(すごく羨ましい)。

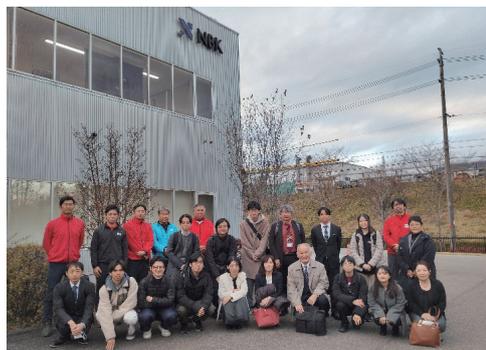


図2 参加者の集合写真@鍋屋バイテック会社

見学先へは事前に参加者プロフィールを送信していたことで、施設紹介・会社紹介のなかで学生向けに就職に関する情報を提供いただけた。岐阜県産業技術総合センターでは専門職の採用があること、鍋屋バイテック会社では福利厚生について説明いただいた。参加した学生たちの進路検討の一助となれば幸いである。

東海支部では、今後も支部会員や学生向けに交流会や工場見学を企画していく予定である。性別・キャリアを問わず、ぜひご参加いただきたい。

最後に、本会開催にあたり、工場見学受け入れ先の岐阜県産業技術総合センター、鍋屋バイテック会社、ならびに参加者の皆様はこの場をお借りして御礼申し上げます。次回の工場見学は第150回春期大会の若手の会見学会とコラボして株式会社能作(富山県高岡市)を訪問する予定である。

世話人：	日本軽金属株式会社	辻倉 景子
	名古屋工業大学	成田 麻末
	名古屋工業大学	渡辺 義見
	株式会社TYK	大島 智子